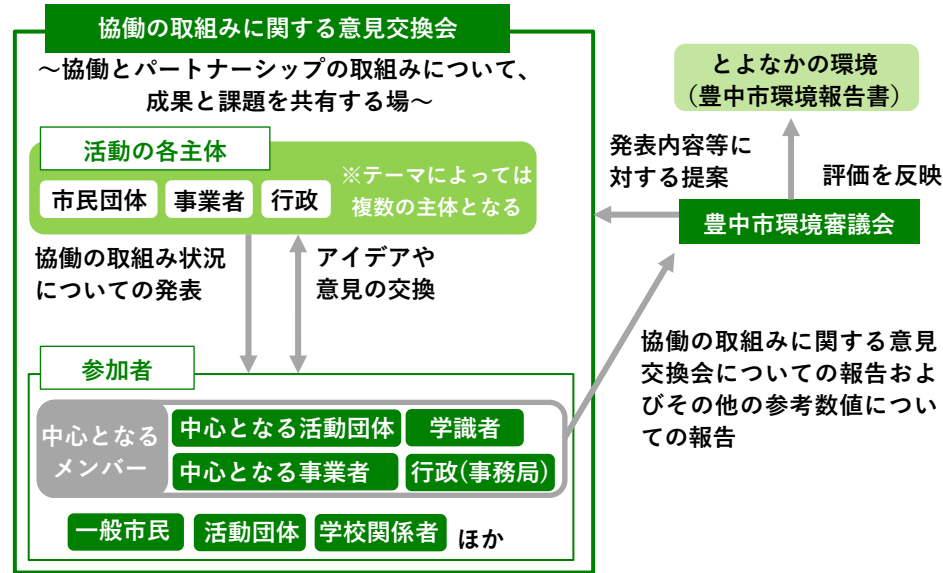


# 第2章 環境目標の進ちょく状況等について

## 1. 環境目標に対する進ちょく状況の見方

### 目標 1

協働とパートナーシップの取組みに対する評価のプロセス



#### 協働とパートナーシップの進行管理

多様な主体のパートナーシップの取組み成果や課題を共有する「協働の取組みに関する意見交換会」を毎年開催しています。

#### 進ちょく評価

「使用済み子ども服を活用した資源循環の取組み」をテーマに実施した「協働の取組みに関する意見交換会」の開催結果について紹介しています。

### 目標 2～5

- 環境目標**  
各環境分野ごとに環境目標を設定しています。
- 市の取組み**  
市の主な取組み内容を紹介しています。
- 指標の進ちょく状況**  
代表指標は目標達成に最も影響を与えるものです。その他の指標は、代表指標を補完または影響を与えるものです。



#### 評価の判断基準

- 環境基本計画の進行管理として、目標2・4は、代表指標にめやす線をひいています。めやす線と数値の関係や前年度との比較でA～Dをつけています。
- 目標3は、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画の年度目標値に比較して評価をつけています。
- A** 今年度の目標を達成しました  
目標達成のめやす以下かつ前回値以下
  - B** 今年度の目標を達成しましたが、さらに努力が必要です  
目標達成のめやす以下かつ前回値より大きい
  - C** 改善の傾向にありますが、更なる努力が必要です  
目標達成のめやすより大きく、前回値以下
  - D** 改善の傾向がありません  
目標達成のめやすより大きく、前回値より大きい
- 目標5は、すべての環境基準を達成した場合「A」、達成していない場合「D」をつけています。

#### 要因分析

環境目標の進ちょく状況について、「どうしてこのような結果になったのか」要因分析をしています。

# 市民からの意見及び審議会評価、市の考え方について

## 環境審議会評価

・代表指標である「市民 1 人あたり温室効果ガス排出量」は順調に減少しており、市民・事業者のエネルギー消費削減の取組みの成果が一定表れていると評価ができます。また、再生可能エネルギー等設備導入量も増加していますが、豊中市は市街地であるため大規模な設備導入は難しいと考えられることから、長期的にみると設備の導入量の増加は鈍化していくことが想定されます。また、温室効果ガス排出量の減少は、市の取組みの影響を受けにくい電力の排出係数の低減も一因であり、市の取組みの効果を測りにくくなっています。

・今後は、自然を活用した解決策(NbS: Nature-based Solutions)や環境価値(CO2 削減等に資する価値)などの活用による温室効果ガスの削減や「パロプスカイト太陽電池」などの新技術の活用、また市内の再生可能エネルギー導入状況や省エネ対策を実施している建物の普及率等の新たな指標を設定するなどの市の取組み効果を適切に評価できる仕組みを検討する必要があります。

## 環境審議会評価

環境目標の達成状況に対する環境審議会の評価を記載しています。

## 市民からの主な意見（案）（57 件）

【省資源・省エネルギーを通じた脱炭素社会の実現】39 件

- ・地球温暖化が進み、今こそひとり一人が行動できることから取り組むべきと強く感じた。
- ・取り組みたいとは思っているが、何をしたらよいか分からない。どのような行動をすれば、少しでも貢献できるのか教えて欲しい。
- ・温室効果ガスや脱炭素は目に見えず、削減による直接的な効果は分かりにくいので、市民に馴染みのないものを感じると思う。

【再生可能エネルギー等の活用促進】4 件

- ・集合住宅の屋上や壁、戸建て住宅の屋根への新しい太陽電池の設置など活用の余地は大きく残されており、まずは公共施設、学校や公民館などから始めて順次民間住宅に広げていくことは考えられないか。

【環境に配慮した運輸部門における施策の推進】14 件

- ・電気自動車や充電スポットの導入の取組みが良いと思う、今後も拡大してほしいと思う。
- ・移動に自転車や電車・バスなど公共交通機関を使うように心がける程度の取組みしかできないが、これからは協力したい。

## 市民からの意見

「とよなかの環境（速報版）」を市ホームページや公共施設などで公表し、市民の方から市の環境の取組みについていただいた主な意見を記載しています。

## 市の考え方

- 建物の耐震性等の課題により、これまで太陽光発電設備の設置ができなかった施設に新技術を活用した設備の導入を検討するなど、市が率先して新たな知見を取り入れながら脱炭素につながる取組みを進めることで、市民・事業者の省エネ行動や再生可能エネルギー導入などに繋げていきます。
- 市では、自然資源を活用した取組みとして、豊富な森林資源を有する能勢町、島根県島根市の島町、兵庫県六甲市などと連携協定を締結し、森林整備等によるカーボン・オフセット事業や市有施設における木材利用を進めており、引き続き、自然資源や環境価値のさらなる活用を検討いたします。
- 現行の「第2次豊中市地球温暖化防止地域計画(改定)～とよなか・ゼロカーボンプラン～」は令和9年度(2027年度)に計画の最終年度を迎えることから、社会情勢等もふまえながら目標の見直しを行うとともに、市域の状況を適切に把握するために新たな指標を設定するなど、2050年ゼロカーボン達成に向け次期計画の内容を検討していきます。

## 市の考え方

市の今後の対応や施策事業の考え方を記載しています。

## 市民意見募集について

「とよなかの環境 2024 年度(速報版)」について、市ホームページ等で公表し、下記の日程で環境に関する市民意見を募集しました。

### ○意見募集期間

令和 7 年(2025 年)11 月 1 日(土曜日)から令和 7 年(2025 年)11 月 30 日(日曜日)まで

### ○募集方法

WEB 応募(電子申込システム)

### ○募集結果

回答者数:276 人

意見数:436 件(内、環境に関して記述された意見 414 件)

【内訳】目標 1:48 件、目標 2:57 件、目標 3:157 件、

目標 4:123 件、目標 5:18 件、

報告書全体に関すること:11 件、

その他:22 件



## 2.環境目標の進ちょく状況

環境分野 ▶ 環境政策を推進するための総合的なしくみづくり

目標  
1

よりよい環境をめざして多様な主体の  
パートナーシップで取り組む



### 2024 年度の取組み

#### 環境交流センター

環境交流センターを起点に、地球環境保全等に関する活動のための交流の場の提供、情報の収集及び提供、講座の開催及び啓発などを実施



#### 事業者等との連携

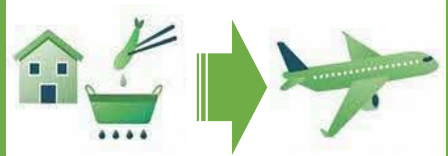
##### ペットボトルリサイクル協定

使用済みペットボトルの一部を新たなペットボトルにリサイクルする BtoB (ボトル to ボトル) に関する協定を締結



##### SAF に関する連携協定

廃食油を原料とした SAF (持続可能な航空機燃料) の製造推進に関する協定を航空会社と締結



### 2024 年度の協働の進ちょく状況

「協働の取組みに関する意見交換会」のテーマ

「使用済み子ども服を活用した資源循環の取組み」

豊中市における「使用済み子ども服を活用した資源循環の取組み」関係図

令和4年度意見交換会で子ども服リユースの実証実験結果について発表



発展

#### 取組み事例1 子ども服リユース



協働団体・連携部局の増加などにより  
回収量・配布数が増加

#### 取組み事例2 おゆずりぐるり



子ども服リユースの仕組みの  
構築を実現

開催結果【テーマ「使用済み子ども服を活用した資源循環の取組み」】

特徴・成果

①複数の分野・主体による協働の推進

ごみの削減のために  
何かしたい！

活動の  
きっかけ

社会復帰を支援したい！

育休中でママ友もいない。  
コミュニティに参加したい！

就労支援やボランティア  
活動を支援したい！

孤立しがちな子育て世代の  
ために何かしたい！

行政の関係部局に加え、子育て支援団体や就労支援団体、事業者や中間支援団体など、  
様々な立場の団体・主体が様々な活動のきっかけを経て協働に参加している。

②協働のための「仕組み」構築

複数の分野・主体が参加し、子ども服の回収から  
管理、配布までを含んだ子ども服リユースのしくみ  
「おゆずりぐるり」を構築している。



協働の広がりが、事業の広がりに繋がり、  
様々なきっかけにより、人と人とが交流し、  
新たなコミュニティが形成されている

今後の展望・活動のヒント

意見交換会では、  
取組み発展のためのアイデアがたくさんでした。

活動者拡大に向けたアイデア

- ・活動者の世代を広げていく工夫がいると思う。
- ・活動したいと思った人が情報をキャッチできるようにしたい。
- ・学生がやりたい企画と子ども服リユースを組み合わせると新しい取組みをつくれると良い。
- ・ボランティアポイントなど、活動者のモチベーションアップの仕組みが欲しい。
- ・来場者にリユース服のハンガー掛けなどの作業協力をお願いするなど、来場者にも参加してもらえるような取組みができると良い。



利用者拡大に向けたアイデア

- ・SNSを使うなど、効果的な情報の魅せ方が大切だと思う。
- ・子育て世代みんなが情報をキャッチできる工夫が必要である。
- ・環境問題やごみの減量が、堅苦しく考えずに楽しい活動として捉えられるような工夫がいると思う。

持続可能な取組み推進に向けたアイデア

- ・皆が幸福感や満足感を感じられる取組みにしたい。
- ・配送コストや環境への配慮の観点から、回収拠点と配布場所は近い方が良い。

あなたも「おゆずりぐるり」に  
参加しませんか？

子ども服リユースの取組みは、市内の各所やイベントで実施されています。  
常設拠点やイベント開催予定など、公式 SNS で紹介しています。



公式 SNS (Instagram)  
はこちら

## 環境審議会評価

- ・今年度の意見交換会「使用済み子ども服を活用した資源循環の取組み」について、子ども服をうまく資源循環させる仕組みの構築に加えて、子育てに悩む保護者同士のコミュニティの場にしたいなど、多様な主体が様々な思いで活動に参加していることから協働による取組みが広がっています。また、「子育てしやすさNo.1」を掲げている豊中の施策の一つとしてPRするなど、今後の取組み推進を期待します。
- ・協働とパートナーシップの進行管理について、定量評価(数値による評価)が難しい分野であるため、協働の取組みに関する意見交換会の結果を踏まえた定性評価(数値では表せないものに対する評価)を行っているが、今回の意見交換会で共有された取組みの成果や課題、アイデアなどを分析するとともに、今後も意見交換会での事例を他事例に活かしていくための工夫が必要と考えます。

## 市民からの主な意見（48件）

### 【環境情報の提供】10件

- ・知らない情報が多い。この報告書をマチカネアプリで知った。情報を知る手段として、アプリも便利だなと思う。

### 【環境に関する教育・学習と意識啓発の推進】5件

- ・世代や分野を超えて意見交換できる場や、市民が気軽に関わられる環境活動の機会をさらに広げてほしい。みんなで力を合わせることで、より住みよい豊中になることを期待する。

### 【協働とパートナーシップに基づく施策の推進】33件

- ・環境行政の推進は、市民、事業者、行政が各々の役割を担うと共に、各々が連携しながら継続していくことが重要だと思う。その中で行政の役割は、推進する為の仕組み・仕掛け・きっかけ作りである。
- ・行政だけでなく、市民、企業、学校、地域団体などが協力して環境づくりに取り組むという方針にとても共感した。多様な立場の人々が意見を出し合い、連携することで、より実効性のある取組みが生まれると思う。私自身も身近なところから参加し、協力していきたいと感じた。
- ・「使用済み子供服を活用した資源循環の取組み」と同じ仕組みを活用した、別のリユースシステムを作るなどの展開にも期待したい。

## 市の考え方

- 今回の意見交換会では、「使用済み子ども服を活用した資源循環の取組み」が中間支援団体の参画やボランティア登録制度などにより、子育て支援団体や就労支援団体を巻き込んだ取組みに広がっていることが成果としてあげられました。今後も、「使用済み子ども服を活用した資源循環の取組み」について、資源の有効利用及びごみの発生抑制に加えて、子育て世帯の支援につなげるため取組みを推進していきます。
- 今回の意見交換会を受けて、現状の仕組みにとらわれず、時代に合った柔軟な考え方を取り入れること、また、活動のきっかけは多様であるため、様々な視点で仲間を拓けることは、取組みの拡大・継続につながっていることが再確認できました。今後も、多様な主体による協働の取組みを推進するため、多角的な視点から取組みを拓げ、進めていきます。
- 多様な主体のパートナーシップによる取組みは非常に重要であるため、環境政策を推進するための協働のしくみづくりとして、柔軟で効果的な方策を次期計画策定に向けて検討していきます。

目標  
2

1人あたり温室効果ガス排出量 (t-CO<sub>2</sub>) を令和9年度(2027年度)までに、平成2年度(1990年度)比38.3%削減し、脱炭素社会をめざす



2024年度 の 取組み

事業者向け  
脱炭素経営セミナー

市内の中小事業者を対象に、脱炭素経営を進める必要性等について脱炭素経営セミナーを開催



電気自動車普及啓発

電気自動車等購入  
補助金対象者を拡大

事業者向け電気自動車等購入支援補助金の対象を市民へ拡大



市有施設に  
EV充電器を設置

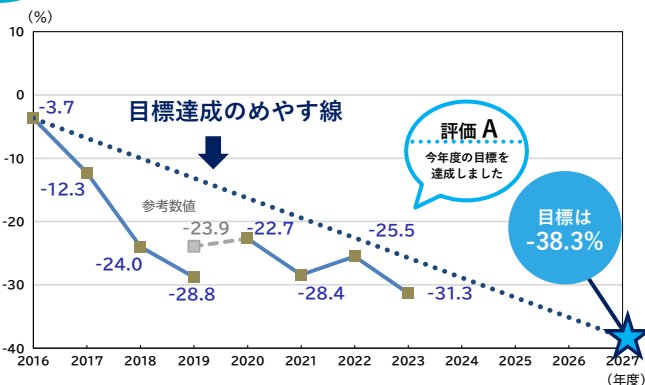
電気自動車の利用環境を整備するとともに、普及促進につなげるため、新たに市有施設2か所にEV充電器を設置



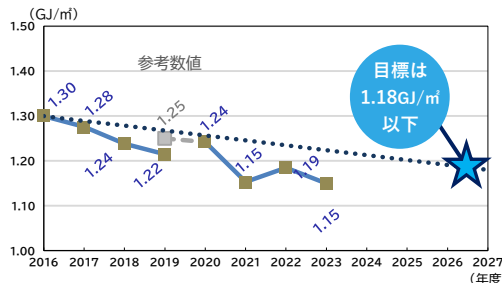
指標の進ちょく状況

代表  
指標

市民1人あたり温室効果ガス排出量(t-CO<sub>2</sub>/人)  
平成2年度(1990年度)比(%)



業務部門の床面積1㎡あたりの  
エネルギー消費量(GJ/㎡)



※2020年度以降、市域の部門別消費電力量のデータの出典が変更となったことから、2019年度以前の推計値と非連続になっています。そのため、2019年度から2020年度の全国的な消費電力量変化が豊中市においても生じたと想定して参考数値を算出しています。

指標	目標	前回値 2022年度	直近値 2023年度
部門別温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> ) 平成2年度(1990年度)比(%)	産業部門	-66.0	-64.0
	家庭部門	-32.0	+1.5
	業務部門	-11.0	-9.7
	運輸部門	-46.0	-32.1
	廃棄物部門	-33.0	-4.6

指標	目標	前回値 2022年度	直近値 2023年度
家庭部門市民1人あたりエネルギー消費量(GJ/人)	減少	13.6	13.1
再生可能エネルギー等設備導入量(kW)	増加	28,772	30,797
市民1人あたりの自家用車の登録台数(台/人)	減少	0.248	0.248
市内に登録された自動車1台あたりの温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> /台)	減少	1.39	1.39
市内に登録された自家用乗用車のうち電気自動車等の割合(%)	増加	26.9	29.7

進ちょく状況に対する要因分析

市民1人あたりの温室効果ガス排出量は、目標達成のめやす線を下回っており、順調に減少しています。温室効果ガス排出量の減少には、電力の排出係数が前年度より低減した影響が大きいと考えられますが、エネルギー消費量はすべての部門で減少していることから、各部門において省エネ化が進んでいると考えられます。

## 環境審議会評価

- ・代表指標である「市民 1 人あたり温室効果ガス排出量」は順調に減少しており、市民・事業者のエネルギー消費量削減の取組みの成果が一定表れていると評価ができます。また、再生可能エネルギー等設備導入量も増加していますが、豊中市は市街地であるため大規模な設備導入は難しいと考えられることから、長期的にみると設備の導入量の増加は鈍化していくことが想定されます。また、温室効果ガス排出量の減少は、市の取組みの影響を受けにくい電力の排出係数の低減も一因であり、市の取組みの効果を測りにくくなっています。
- ・今後は、自然を活用した解決策(NbS: Nature-based Solutions)や環境価値(CO<sub>2</sub>削減等に資する価値)などの活用による温室効果ガスの削減や「ペロブスカイト太陽電池」などの新技術の活用、また市内の再エネ電力導入状況や省エネ対策を実施している建物の普及率等の新たな指標を設定するなど市の取組み効果を適切に評価できる仕組みを検討する必要があります。

## 市民からの主な意見 (57 件)

### 【省資源・省エネルギーを通じた脱炭素社会の実現】39 件

- ・地球沸騰化が進み、今こそひとり一人が行動できるところから取り組むべきと強く感じた。
- ・取り組みたいとは思っているが、何をしたらよいかわからない。どのような行動をすれば、少しでも貢献できるのか教えて欲しい。
- ・温室効果ガスや脱炭素は目に見えず、削減による直接的な効果は分かりにくいいため、市民に馴染みのないものに感じると思う。

### 【再生可能エネルギー等の活用促進】4 件

- ・集合住宅の屋上や壁、戸建て住宅の屋根への新しい太陽電池の設置など活用の余地は大きく残されており、まずは公共施設、学校や公民館などから始めて順次民間住宅に広げていくことは考えられないか。

### 【環境に配慮した運輸部門における施策の推進】14 件

- ・電気自動車や充電スポットの導入の取組みが良いと思い、今後も拡大してほしいと思う。
- ・移動に自転車や電車・バスなど公共交通機関を使うように心がける程度の取組みしかできないが、これからの微力ながら協力したい。

## 市の考え方

- 建物の耐震性等の課題により、これまで太陽光発電設備の設置ができなかった施設に新技術を活用した設備の導入を検討するなど、市が率先して新たな知見を取り入れながら脱炭素につながる取組みを進めることで、市民・事業者の省エネ行動や再エネ導入などにつなげていきます。
- 市では、自然資源を活用した取組みとして、豊富な森林資源を有する能勢町、島根県隠岐の島町、兵庫県宍粟市などと連携協定を締結し、森林整備等によるカーボン・オフセット事業や市有施設における木材利用を進めており、引き続き、自然資源や環境価値のさらなる活用を検討いたします。
- 現行の「第2次豊中市地球温暖化防止地域計画(改定)～とよなか・ゼロカーボンプラン～」は令和9年度(2027年度)に計画の最終年度を迎えることから、社会情勢等もふまえながら目標の見直しを行うとともに、市域の状況を適切に把握するために新たな指標を設定するなど、2050年ゼロカーボン達成に向け次期計画の内容を検討していきます。

環境分野 ▶ 廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり

目標  
3

発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進により、ごみの焼却処理量を令和9年度（2027年度）までに平成28年度（2016年度）比8%削減し、循環型社会の構築をめざす



2024年度の取組み

豊中エコショップ制度のイベント開催

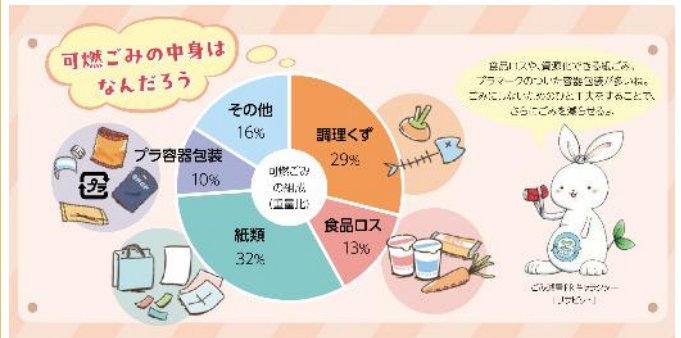
豊中エコショップ制度の周知啓発を目的に、「エコ de さんあい 豊中エコショップ+第13回さんあいイベント」を開催



子どもを中心に広く募集した環境に関する写真や絵画等をラッピングしたごみ収集車のお披露目式を併せて実施

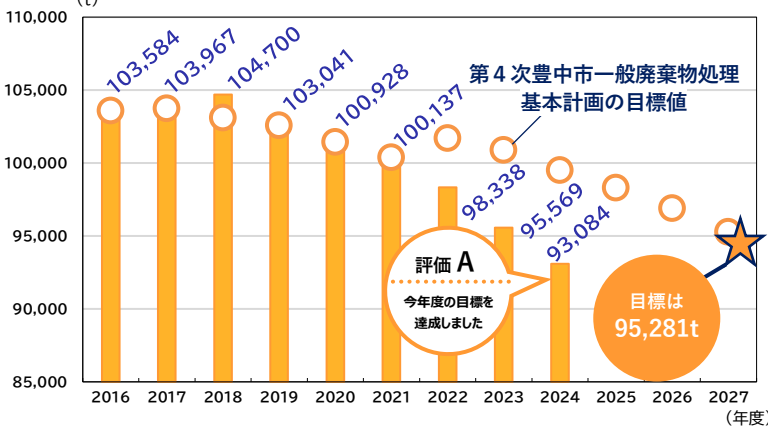
家庭系ごみ排出実態調査の実施

市民のごみ分別意識や排出状況を把握し、市の次期計画に反映させるため、家庭系ごみ排出実態調査を実施

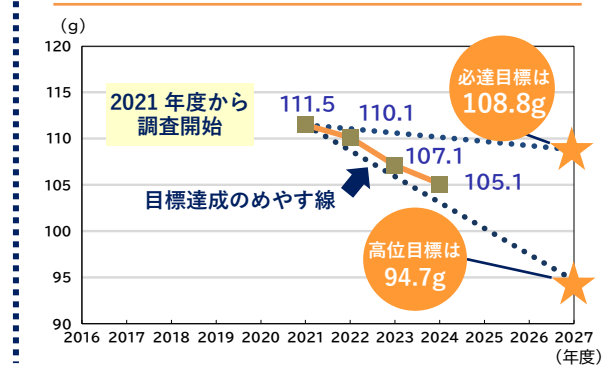


指標の進ちょく状況

代表指標 焼却処理量 (t)



食品ロス 1人1日あたり量 (g)



指標	目標	前回値 2023年度	直近値 2024年度
家庭系ごみ1人1日あたり排出量(g) (再生資源は除く)	394	387	379
事業系ごみ排出量(t) (再生資源は除く)	36,601	37,634	36,711



進ちょく状況に対する要因分析

ごみの焼却処理量は、引き続き減少しており、令和9年度（2027年度）までの目標値を達成しています。家庭系・事業系共にごみの排出量が減少するとともに、リサイクル率が微増しています。物価高騰による個人消費抑制に伴うごみの発生抑制や、ごみの適正処理の意識の浸透などの影響が考えられます。

## 環境審議会評価

- ・代表指標である「焼却処理量」については目標値を達成しており、順調に進んでいます。これは、物価の高騰による消費抑制という要因だけでなく、市民の環境意識の向上やこれまでのごみ減量施策によるものであると考えられます。
- ・引き続き、家庭系・事業系のごみの減量に向け、社会情勢がどのように変化しても継続してごみを減らす、再資源化を促進する取組みを推進するとともに、「食品ロス」の削減に向けた取組みを推進していくことが必要です。

## 市民からの主な意見（157件）

### 【廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進】151件

- ・ごみの量が減ったのは、物価高騰で家庭での購入量が減っただけではなく、ごみの分別が徹底されてきたことも要因の一つではないかと思う。
- ・家庭から出る可燃ごみの内容物の割合調査が興味深かった。リサイクルできる資源が多く含まれている事に驚き、改めて自分のごみの捨て方について考えることができた。
- ・マチカネポイントアプリの利用時に、豊中エコショップの存在を知ったが、事業者も巻き込んで、豊中市の環境向上に取り組んでいることが分かった。
- ・食品ロスの多さは何とかしたいと思う。必達目標の達成にとどまらず、高位目標をめざしてほしい。
- ・次世代への食への学びを深める機会を多くしてほしい。

### 【廃棄物の適正処理の推進】6件

- ・ごみの処理におけるリチウムイオン電池の危険性について啓発が必要と感じる。

## 市の考え方

- 物価高騰による消費抑制の影響もありますが、社会全体における環境意識については定着しつつあり、市民・事業者・行政が一体となっごごみの減量に向けた取組みを継続していることにより、順調にごみ減量していると考えます。今後も社会情勢によるごみの排出量への影響を注視しながら、発生抑制を第一とし、効果的なごみ減量普及啓発事業を推進します。
- 食品ロス対策については、ごみの減量はもとより、食べ物を無駄にしないことを大前提とし、意識変容を促す普及啓発の実施、また、生産から消費までを全体の流れとして捉え、市民、事業者、関係団体等の多様な主体と連携した取組みについて継続して実施します。

環境分野 ▶ 都市における自然との共生をめざした社会づくり

目標  
4

みどり率 27%で  
心豊かな豊中らしいまちをめざす



2024 年度の取組み



とよなか花いっぱい大作戦



花いっぱい運動を拡充した「とよなか花いっぱい大作戦」を開始  
花いっぱいのまちづくりをめざし、住民・事業者からサポーターとスポンサーを募集

グリーンインフラによるまちづくり  
基本方針

多面的に機能するようみどりの「質」を高めるとともに、憩いの場の創出や賑わい空間の形成などにより、様々な人が集えるよう公園みどりを展開していくことを目的に策定



緑化樹配布

マンションや企業、学校、子ども園などへ、キンモクセイやレッドロビンなどの樹木を配布し市内の緑化を推進

(過去5年間で約 12,000 本配布)



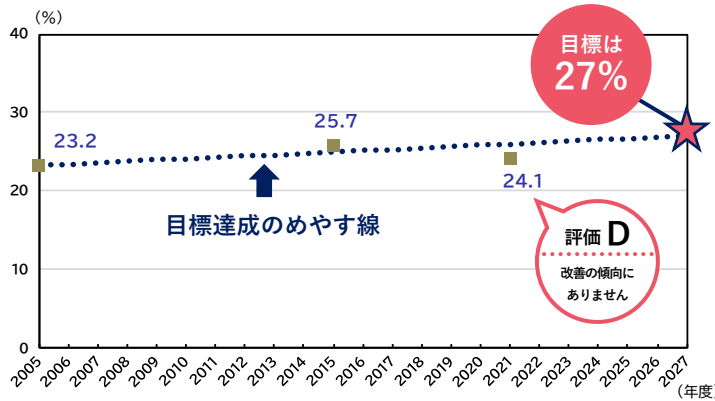
生物多様性の啓発



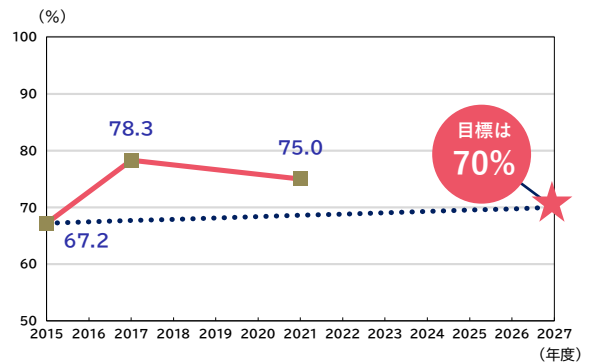
ふれあい緑地のビオトープを活用した生きもの観察や生きものを呼び込むための市民とのフィールド整備など、まちなかの公園で体験できる生物多様性について啓発

指標の進ちょく状況

代表指標 みどり率(%)



みどりに対する満足度(%)



指標	目標	前回値 2023年度	直近値 2024年度
緑被率(%)	15.7	—	—
市民1人あたりの公園・緑地面積(m <sup>2</sup> /人)	7.17	7.12	7.12
みどりに関するイベント参加者数(人)(累計)	累計 150,000	64,644	79,006

指標	目標	前回値 2023年度	直近値 2024年度
市民参加による生物調査の参加者数(人)	増加	31	53
生物多様性の認知度(%) (「言葉の意味を知っていた」の回答比率)	増加	—	—
景観に関する項目が盛り込まれている地区計画・協定等の数(件)	増加	49	48

進ちょく状況に対する要因分析

みどり率は、開発行為や自然災害の影響による樹林・樹木の減少、草地・芝地・屋上緑化の増加や樹木の生育状況を総合して、減少傾向となっています。

みどりについては、市民参加や環境配慮を重視し、効果的な施策の改善と持続的な取組みが必要です。

みどりに関する指標の用語説明

第2次豊中市みどりの基本計画では以下のとおり定義しています。  
みどり: 樹林・樹木、草地、農地、水面、屋上緑化、これらと一体となったオープンスペースなどの緑地のこと。  
みどり率: 樹林・樹木、草地、農地、水面、屋上緑化が市域に占める割合  
緑被率: 樹林・樹木の面積が市域に占める割合

## 環境審議会評価

- ・代表指標である「みどり率」については、計画で掲げる目標達成に向けて、「自然環境の保全」、「生物多様性の保全」等の視点からも引き続き取り組む必要があります。また、緑地は主観的な満足だけではなく、都市構造への影響等さまざまな効果があると考えられることから、令和8年度(2026年度)に実施する調査では、それらも考慮した多角的な視点での評価を取り入れていくことを期待します。
- ・「みどりの満足度」については高い水準を維持しており、「とよなか花いっぱい大作戦」等みどりと触れ合うような機会を積極的に設ける施策を推進していることは評価できます。また、生活が豊かになることをめざして、みどりの質を高める「グリーンインフラによるまちづくり基本方針」を策定しており、複合的な観点から豊中らしいまちの実現を期待します。

## 市民からの主な意見（123件）

### 【受け継がれてきたみどりの保全や育成】52件

- ・公園整備やみどりの保全に取り組んでいることに共感した。みどりのあるまちは景観が美しいだけでなく、心の安らぎや地域のつながりを育む大切な要素だと思う。
- ・数年で竹林が減って行くのをすごく体感しており、生物や環境の変化が気になる。

### 【都市のみどりや地域の身近なみどりの創出】38件

- ・「花いっぱい大作戦」で子どもたちが、みどりに触れて愛でる心が、芽生える事は良い。

### 【みどりを活かした安全で快適なくらしの実現】18件

- ・市民が気軽に参加できる植樹活動や花壇づくり、みどりを楽しむイベントをさらに充実させてほしい。自然と人が共に生きる、心豊かなまちづくりを期待する。
- ・みどりの質の向上をめざし、公園の整備に取り組まれているのも素晴らしいこと。みどりも賑わいも溢れる公園が増えることを期待している。

### 【生物多様性の総合的な保全と活用】6件

- ・ふれあい緑地のビオトープは展示している生物を見て学び、生き物、植物に触れ合えるのでとても良い取り組みだと思う。

### 【都市景観・歴史環境、快適環境の保全・創出】9件

- ・緑化や清掃などの活動に、ゆるく気軽に参加出来ると良いなと思うが、身近にどのような活動があるのかあまり知られていないように感じる。

## 市の考え方

- 代表指標である「みどり率」等を令和8年度(2026年度)に調査し、これまで実施した施策の効果や自然災害などの影響を把握する予定です。調査結果や社会情勢等を踏まえて、目標達成に向けた努力とともに、自然環境や生物多様性の保全の視点も取り入れた効果的な施策の進め方や多角的な評価のあり方について検討していきます。
- 「みどりの満足度」については、令和6年度(2024年度)に策定した「グリーンインフラによるまちづくり基本方針」で既存のみどりが持つ多面的な機能により、憩いの場の創出や賑わい空間の形成を進め、みどりの質を高める考え方を示しました。今後、「とよなか花いっぱい大作戦」、「とよなか公園魅力アップツアー事業」、「緑化樹配付」など、市民や事業者と共に新たなみどりの創出やみどりが持つ様々な価値を高めながら、みどりの量に加え、質の向上もめざします。

目標  
5

環境基準の達成状況 100%で  
快適な都市環境をめざす



2024 年度の取組み

民間施設をクールスポットに指定

市有施設に加えて、新たに民間施設3か所を、熱中症対策として一時的に暑さから逃れ休憩できる「クールスポット」に指定



緑化計画の協議

開発行為において、壁面緑化や屋上緑化など多様な緑化計画を協議

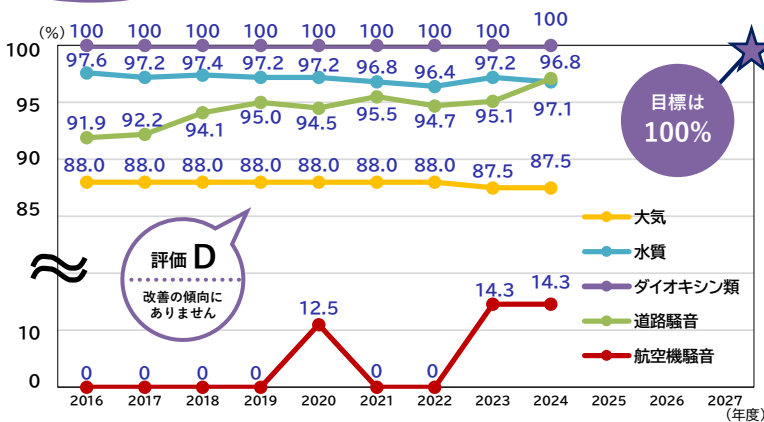


豊中市伊丹市クリーンランド HP

指標の進ちょく状況

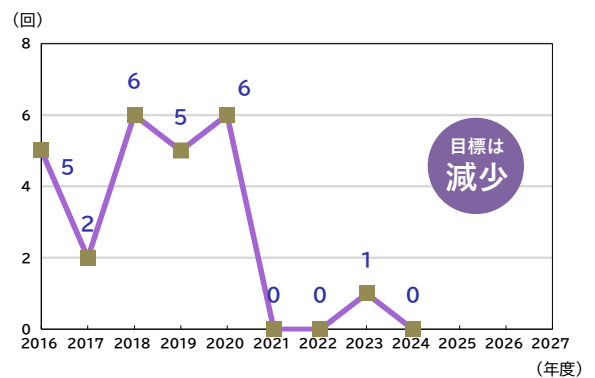
代表指標

環境基準達成状況(%)



大気に関する注意喚起回数(回)

(光化学スモッグ予報・注意報、PM2.5(微小粒子状物質))



指標	目標	前回値 2023年度	直近値 2024年度
雨水排水整備率(%)	増加	82.1	82.2
環境配慮のうち 雨水利用に 関するもの (累計)	雨水利用の 件数(件)	11	11
	雨水利用の 容量(L)	202,530	202,530



進ちょく状況に対する要因分析

大気、水質、道路騒音では高い環境基準達成率を維持しています。  
環境基準を達成していない項目については広域的な課題・自然由来の影響となっています。  
大阪国際空港の着陸ルート直下に位置していることから、航空機騒音は達成率が低い状況が続いています。

## 環境審議会評価

- ・代表指標である「環境基準達成状況」では、航空機騒音を除いて、高い環境基準達成率を維持しています。航空機騒音については、引き続き、常時監視業務を行うとともに、騒音低減に向けて関係機関へ働きかける必要があります。
- ・空港周辺地域については、例えば農業用地の整備をすること等で緑地の持つ遮音効果を利用するなど、環境改善に向けた取組みや、地域の特性を生かした公園等地域の活性化に向けた取組み推進に期待します。
- ・市民や市の取組みだけでは改善が困難な指標については、より取組みの進ちょくがわかるよう検討が必要です。

## 市民からの主な意見（18件）

### 【環境汚染防止対策の充実】6件

- ・環境基準達成状況の評価はDでしたが、航空機騒音など市の取組だけでは難しい点を除けば概ね高い基準であることに安心した。
- ・目標達成を実感しづらい難しい目標だと思うが、継続してわかりやすい情報発信をしてほしい。

### 【都市・生活型公害対策の推進】11件

- ・航空機騒音については、影響ある地域に居住されている市民にとっては大きな問題であると思う。ふれあい緑地や新たに出来た豊中つばさ公園『ma-zika』などの騒音緩衝&魅力向上の役割を、市民のみならず多くの人に広報し、マイナスをプラスに変えてほしい。
- ・民間施設のクールスポットは、災害対策と同じくらいとても大切だと思う。しかしクールスポットや給水所が日常生活する上でどこか分かりにくいいため、看板や貼り紙などで周知してほしい。

### 【健全な水環境・水循環の創出】1件

- ・ゲリラ豪雨多発などもあり、雨水排水整備率は更に上がって欲しい。

## 市の考え方

- 引き続き高い環境基準達成率を維持できるように、必要な措置を継続するとともに、市内の公害状況を調査し、ホームページ等でわかりやすく評価・公表していきます。航空機騒音については、低騒音型機の導入を要請するなど、引き続き関係機関と連携しながら騒音対策を進めます。
- 空港周辺地域では、緩衝緑地の整備を進めてきましたが、加えて最近では、航空機の着陸を間近で鑑賞できるスポットとして「豊中つばさ公園『ma-zika』」の整備を進めるとともに、走井地区内緩衝緑地では、草花の育成や同地の開放イベントを実施しています。引き続き地域の環境改善及び活性化に向けた取組みに努めます。
- 指標について、改善は進んでいるものの市民や市の取組みだけでは達成が困難な項目があり、取組みの進ちょくがわかりにくい状況が続いています。指標や目標のあり方など、次期計画策定に向けて検討していきます。

### 3. 令和8年度（2026年度）の主な事業

環境審議会と市民のみなさんからの意見をふまえ、令和8年度（2026年度）はこれまで実施している事業も含めて以下に示す事業に取り組みます。

#### 《目標1》

事業名称	内 容	主な担当部局	予算額 (千円)
とよなか市民環境展	市民・事業者・行政の環境問題解決に向けての取り組みの発表と交流の場を設け、行動計画「第3次豊中アジェンダ21改定版」の普及啓発を図ります。	ゼロカーボンシティ推進課	3,383
環境学習の推進	環境への関心や環境の現状等に関する正しい認識をもち、環境に配慮したライフスタイルを実践できるよう、家庭や学校、地域団体などにおける環境学習を推進します。	ゼロカーボンシティ推進課	5,117
環境交流センター運営管理	地球環境の保全、環境への配慮、資源・エネルギーの有効利用及び廃棄物の減量に関し、活動のための交流の場や情報の提供等を行います。環境交流センターについて、令和7年度の選定評価委員会による中間評価を受け、活性化・充実化を進めるとともに、次期指定管理者選定に向けた検討を行います。	ゼロカーボンシティ推進課	22,034
環境基本計画の推進	「第3次豊中市環境基本計画(改定)」で定めたPDCAサイクルに基づいて施策・事業の進行管理を図り、環境報告書を公表します。また、環境分野における新たな課題や新技術に対応するため、外部機関と連携することにより、多方面から情報を収集し、実践につなげるなど環境施策の総合的かつ計画的な推進を図ります。「第4次豊中市環境基本計画」策定に向けた調査・検討に取り組みます。	ゼロカーボンシティ推進課	11,910
豊中アジェンダ21の普及促進	地球環境を守る市民・事業者・行政の行動計画「第3次豊中アジェンダ21改定版」に基づく取り組みの普及促進を図ります。	ゼロカーボンシティ推進課	1,269

#### 《目標2》

事業名称	内 容	主な担当部局	予算額 (千円)
地球温暖化対策実行計画の推進	「第4次豊中市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）改定」に基づき、電力の地産地消、省エネ機器への更新、カーボン・オフセット事業の実施、電力の調達に関する環境配慮方針の運用を行うなど、市の事業実施に伴い発生する温室効果ガスの削減に取り組みます。また、「第5次豊中市地球温暖化対策実行計画」策定に向けた調査・検討に取り組みます。	ゼロカーボンシティ推進課	6,469

事業名称	内 容	主な担当部局	予算額 (千円)
地球温暖化防止地域計画の推進	「第2次豊中市地球温暖化防止地域計画（改定）」に基づき、事業者の脱炭素経営を支援するとともに、市民・事業者に向けた省エネ活動の普及啓発や、再生可能エネルギーの導入、住宅の省エネルギー化促進などを進め、市域の温室効果ガスの排出量を削減します。また、「第3次豊中市地球温暖化防止地域計画」策定に向けた調査・検討に取り組みます。	ゼロカーボンシティ推進課	23,010
スマートハウス等支援補助金	住宅の省エネルギー化等に係る設備の普及を促進し、家庭からの温室効果ガス排出量を削減するため、ネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）、断熱リフォーム、太陽光発電システム、燃料電池システム（エネファーム）、蓄電池の設置支援補助を実施します。	ゼロカーボンシティ推進課	23,276
電気自動車等購入支援補助金	電気自動車等の普及を促進し、自動車における温室効果ガス排出量を削減するため、事業者及び個人（市民）に対して、電気自動車（EV）や燃料電池自動車（FCV）、プラグイン・ハイブリッド車（PHV）の購入支援補助を実施します。	ゼロカーボンシティ推進課	10,023

《目標3》

事業名称	内 容	主な担当部局	予算額 (千円)
ごみ減量普及啓発事業	効果的なごみ減量施策に取り組むとともに、事業者と連携した循環型社会の形成を推進することで市民の環境に対する意識の向上と行動変容を促します。	減量計画課	4,540
廃棄物関連計画の推進	「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」及び「第4次豊中市ごみ減量計画」の進行管理を行います。令和8年度は「第5次豊中市一般廃棄物処理基本計画」及び「第5次豊中市ごみ減量計画」の策定に向け、骨子案を作成します。	減量計画課	8,689
事業ごみ減量対策事業	事業活動に伴い多量の一般廃棄物を排出する事業所に対してごみ減量計画書の提出を求め、それに基づき取り組み状況を立入調査で確認・助言するとともに、他の事業所での先進的な取組み事例等の紹介を情報誌の発行を通して提供するなど、事業者の自発的な取組みを支援します。	環境指導課	354

事業名称	内 容	主な担当部局	予算額(千円)
再生資源集団回収報奨金交付事業	再生資源を回収する登録市民団体や登録行商者に対して再生資源の回収量に応じた報奨金を交付します。リサイクルの推進に向けて、多くの市民が集団回収活動に参画出来るよう、未実施である地域団体へのPR活動を展開し、新規登録団体の獲得を図るとともに、既存の登録団体に対しても回収量増に向けた働きかけを行い、地域コミュニティの維持、活性化に繋げていきます。	家庭ごみ事業課	26,033
分別周知事業	市民から、ごみの分別を通じた3R推進の取組みへの理解と協力を得るため、広報活動の充実化として、ごみカレンダーの作成・全戸配布等の取組みにより、市民サービスの質的向上を図ります。	家庭ごみ事業課	14,450
小型家電リサイクル事業	公共施設等に専用の回収ボックスを常設し拠点回収を行うことにより、ごみの減量及びリサイクルの推進を図ります。	家庭ごみ事業課	102
リユース事業	家庭で不要となったこども服や家具類などをリユースすることにより、資源の有効活用及びごみの発生抑制を図り、ごみの減量を促進します。	家庭ごみ事業課	168

〈目標4〉

事業名称	内 容	主な担当部局	予算額(千円)
自然環境啓発事業	自然環境に関する講座や体験型のイベント等を委託や市民との協働により実施します。また、ふれあい緑地1街区のビオトープを活用した自然環境啓発や地域コミュニティの醸成を行います。	公園みどり推進課	6,107
自然環境保全事業	森林整備計画の運用とともに、市民との協働による里山(島熊山緑地等)の保全や環境学習等を実施します。また、保護樹・保護樹林の指定及び所有者への助成や森林病虫害・クビアカツヤカミキリ等の防除など、様々な自然環境の保全事業を行います。	公園みどり推進課	3,292
地域美化活動事業	市の管理地を個人、団体が自主的に清掃する地域清掃活動に対して、市がごみ袋の提供や清掃用具等の貸出し、ごみの回収などの支援を行います。	美化推進課	7,506
花いっぱい運動事業	駅前や道路等に設置するフラワーポットや花壇の草花、バラ園や花しょうぶ園などの育成管理を行います。また、地域での緑化活動への支援のほか、地域団体や民間活力などの資源を活用し、お花でまちなかを彩る「とよなか花いっぱい大作戦」を展開します。	公園みどり推進課	54,507

事業名称	内 容	主な 担当部局	予算額 (千円)
緑化推進事業	市民や事業者等が取り組む緑化活動に対して、緑化樹の配付や道路沿いに設置する生垣や樹木への助成を行います。また、市民緑地設置管理計画の認定や緑地協定の認可等を行います。	公園みどり推進課	3,681
みどりの基本計画 進行管理事業	環境審議会等で審議するなど計画目標及びモニター指標を用いて、施策に基づく事業の状況把握と評価を行うとともに、豊中市環境報告書「とよなかの環境」や市のホームページなどで進行管理に関する内容を公表し、施策に基づく事業の推進に反映します。令和9年度の計画改定に向けて、みどりの現状を把握・分析し、現行計画の検証・課題整理を行うため、緑被量調査及びみどりに対する市民意識調査を実施します。	公園みどり推進課	12,113

《目標5》

事業名称	内 容	主な 担当部局	予算額 (千円)
環境保全条例推進	開発事業等による環境配慮の協議や環境影響評価の実施に伴う届出を受け付けます。	環境指導課	3,917
水質汚濁関係業務	市内の水質汚濁に係る公害の状況を把握し、公害防止に必要な措置を講じます。	環境指導課	8,244
騒音・振動関係業務	市内の騒音・振動に係る公害の状況を把握し、公害防止に必要な措置を講じます。	環境指導課	3,353
大気汚染関係業務	市内の大気汚染に係る公害の状況を把握し、公害防止に必要な措置を講じるとともに、アスベスト対策に取り組みます。	環境指導課	25,992
空港周辺対策事業	安全・環境対策の徹底並びに利便性の向上等について、大阪国際空港周辺都市対策協議会（10市協）や全国民間空港関係市町村協議会（全民協）を通じて国や大阪国際空港の運営者等への要望や協議を行い、安全運航の確保や航空機騒音の発生源対策、空港周辺対策等の推進を図ります。航空機公害対策推進市民運動団体に対する活動費補助や空港周辺環境整備事業助成の活用により、空港周辺対策の充実を図ります。	空港課	2,777